

伊賀市「事務事業評価」結果総括シート〔2次評価シート〕

(1)政策	コード	名称
	7	(2)災害や火災に備える安全なまちづくり

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	16	火事が起こらず、急病人がスムーズに搬送される。
	16	②火災を防ぎ、市民の命を救う			

(4)評価実施年度	平成 21 年度
(5)評価責任者職名	消防長
(6)評価責任者氏名	東 庸介
(7)評価者	

(9)継続・新規 (21,22,23,24)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H22投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)	1次評価結果				(23)総合評価	(24)方向性			
					H20 決算額	H21 予算 額・補 正要求 額	H22 要求 見込額	人	人件費		(14)指標名	指標の数値		個別評価					
												(15) 20年度 (実績)	(16) 22年度 (目標)	(17) 指標の 単位			(18) 評価 類型	(19) 必要性	(20) 有効性
継続	790	消防職員研修経費	220100	消防本部消防総務課	14,599	15,625	13,692	0.3	2,160	救急救命士資格取得者	48.1	57.4%	IV		4	3	4A	現状維持	
継続	791	国庫消防施設整備事業	220100	消防本部消防総務課	27,988	0	0		0	各消防車両の更新整備率	0.89	1%	III		4	4	4A	現状維持	
継続	794	国補消防施設耐震性防火水槽整備事業	220300	消防本部 消防救急課	24,018	42,700	35,500	0.1	720	消防水利の充足率	72	73.5%	III		4	3	3A	拡大	
継続	795	防災基盤消防団車両等整備事業	220300	消防本部 消防救急課	9,169	7,280	10,002	0.1	720	ポンプの充足率	153	95台	III		4	3	3A	現状維持	
継続	795-2	防災基盤消防車両等整備事業	220100	消防本部消防総務課	5,596	26,000	241,322	0.3	2,160	各消防車両の更新整備率	0.77	1%	III		4	4	4A	現状維持	
継続	796	市単消防施設整備事業	220300	消防本部 消防救急課	8,410	9,600	18,552	0.2	1,440	ポンプ庫等の修繕	7	8件	V		4	4	3A	現状維持	
22新規	2220	三重県消防操法大会出場経費	220300	消防本部 消防救急課	0	0	6,890	0.1	720	大会の結果(ポンプ車)優勝			I		3	4	3c		
23新規	2305	防災基盤耐震性防火水槽整備事業	220300	消防本部 消防救急課	0	0	0		0	消防水利の充足率	72	73.5%	III		4	4	3A		

2次評価										(33)その他の改革改善点について
(25)1次評価修正有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28)改革改善案修正の有・無	(29)修正点	(30)優先度区分	(31)方向性	(32)方向性の評価について		(33)その他の改革改善点について	
無	—	—	無	—	1G	a	職員の資質向上のためには研修は必要である。また救命士は、まだまだ不足していることから、今後も年次的に有資格者を増員すべきである			
無	—	—	無	—	2G	b	老朽化する各種消防車両は年次的に更新し、各種災害に万全を期すべきである			
無	—	—	無	—	1G	a	国の水利基準に合致しない地域が多いことから、年次的な設置が必要である			
無	—	—	無	—	4G	c	未だ積載車の未配備地区があるが、適正化計画と運動すること。			
無	—	—	無	—	3G	c	車両の更新は配備は必要であるが、庁舎については、根本的な観点から再考の必要がある。			
無	—	—	無	—	3G	c	消防団適正化計画によりポンプ庫の統廃合も見て検討すべきである。			
有	必要性が4である	22年度出場決定により	無	—	4G	c	22年度伊賀支会代表で県大会に出場が決定しているが、今後は再考の必要あり。			
無	—	—	無	—	2G	b	低充足地域に設置する			